

果樹のスマート農業研修会 開催要領

1 目 的

果樹の経営体当たりの栽培面積は、10年前の1.3倍程度となっており、担い手への園地集積が進んでいる。また、人手不足や人件費の上昇で、雇用の確保も難しくなっている。

そこで、規模拡大に対応した果樹の安定生産に向けて、スマート農業を活用した栽培管理の導入意識を高めるため、「果樹のスマート農業研修会」を開催する。

- 2 日 時 村山会場：令和7年10月28日（火） 13:30～15:30
置賜会場：令和7年10月30日（木） 13:30～14:30

- 3 場 所 村山会場：農業総合研究センター園芸農業研究所
置賜会場：高畠町時沢ぶどう園地
(集合場所：JA山形おきたま屋代北部集出荷施設)
(高畠町時沢204-1)

- 4 主 催 山形県、山形さくらんぼブランド力強化推進協議会、山形さくらんぼ世界一プロジェクト会議

5 参集範囲

県内生産者、全農山形県本部、農業協同組合、市場協会・流通関係団体、県（農業技術環境課、農業総合研究センター園芸農業研究所、各総合支庁農業技術普及課及び産地研究室）

6 内 容

<村山会場>

(1) 屋内研修

- ①自律型ロボット Adam の特性と利用 輝翠株式会社 高橋 司
②静電ブームスプレーヤーの特性と利用
ヤンマーアグリジャパン株式会社 アグリサポート部 稲葉 進之助
③スマート農業機械の導入に係る補助事業の利用
山形県農林水産部園芸大国推進課 果樹振興主査 高橋 由信

(2) 屋外研修

- ①自律型ロボット Adam を用いた収穫果実の運搬、草刈り作業 輝翠株式会社 高橋 司
②静電ブームスプレーヤーを用いた果樹の防除
ヤンマーアグリジャパン株式会社 アグリサポート部 稲葉 進之助
③収量性、作業性の向上が期待できるりんごの整列樹形
山形県農業総合研究センター園芸農業研究所 主任専門研究員 黒田 博

<置賜会場>

- ①自律型ロボット Adam を用いた剪定枝の運搬
輝翠株式会社 岩川 純也
②ラジコン草刈り機及びぶどうの棚下作業を補助するリフト式電動作業台車の特性と利用
ヤンマーアグリジャパン株式会社 アグリサポート部 稲葉 進之助
③スマート農業機械の導入に係る補助事業の利用について
山形県農林水産部園芸大国推進課 果樹振興主査 高橋 由信